

露國ノ NEVSKI 氏ハ 'Flora URSS'ニ於テ *Roegneria Turczaninovi* (DROBOV) NEVSKI ト云フ新組名ヲ試ミ大井次三郎博士ハ *Agropyron Turczaninovi* DROBOV ヲ採ツテ *Agropyron Gmelini* SCRIBNER & SMITH ト云フ古イ名ハ捨テ去ツテキル。SCRIBNER, SMITH 兩氏ハ誤ツテ米國産ノモノヲ西比利亞産ノ *Triticum caninum* LINNAEUS var. *Gmelini* GRISEBACH ト考定シテコレヲ種名ニ改名シタガ、ソノ新種名ハ命名規約ニモ規定サレテキルヤウニ西比利亞ノ原植物ノ名トシテ用キナケレバナラス。NEVSKI 氏ガ *Roegneria Gmelini* トシナカツタ理由、又大井氏ガ *Agropyron Gmelini* SCRIBNER & SMITH ヲ使用サレヌ理由、コレハ既ニ *Agropyron Gmelini* SCHRADER ト云フ先行名ガ他植物ニ附ケラレテキルカラト云フ點ニアル。私ハ NEVSKI 氏ガ *Agropyron Gmelini* SCHRADER in *Linnaea* XII (1838) 467 ト引用シテキル文獻ヲ見ナクテハナラヌト東京帝大ノ教室ヲ訪レタ際早速 *Linnaea* ノ第 12 卷ヲ開イテ眼ヲ皿ニシテ *Agropyron Gmelini* SCHRADER ノ名ヲ探シタガ 467 頁ニハ單ニ *Triticum Gmelini* TRINIUS ノ名ガアルノミデ *Agropyron* トノ組合セ名ハ全く見當ラズ啞然トシタ。私ノ眼ガ悪イノカ教室ノ *Linnaea* ガ原本デハナイノカ。今ノ私ニモ判ラズ困ツテキル。'Index Kewensis' ヲ調べテモカヤウナ名ハ發見出來ナイ。識者ノ御批判ヲ願ヒスル次第デアル。

○このうぜん (新稱) (久内清孝)

7 月カラ 9 月ニカケテ咲クのうぜんかづらノ 1 種ヲ往々東京市内デ見受ケル。其概形ハのうぜんかづらニ酷似シテ、全體ガ幾分小形デ且ツ花冠裂片ガ短ク、花色ガ濃イ。學名ハ *Campsis radicans* SEEM. デ、米國南部諸州ノ庭園ニ栽培サレ、中華民國デハ既ニ「美國凌霄花」ナル名ヲ與ヘテ、自國産ノ凌霄花即チのうぜんかづらト區別ヲシテ居ルガ、和名ハ無イ様デアル、依テ之ヲこのうぜんと呼稱セントス。標準品ハ東京帝大ノ池ノ端口通門ヲ入ツタ正面ニ存在スルモノデアルガ、上野公園其他ニモ稀デハナイ。以下其外部形狀ヲ略記スル。

蔓性ノ木本デ、短イ氣根ヲ簇生シテ他物ニ纏絡シ、樹皮ハ淡褐色ノ木栓片ニ被ハル。若枝ハ綠色、微細毛ト、縱軸ノ方向ニ走向スル小皮目ガ認メラレ節ニモガアル。葉ハ對生シ、奇數羽狀複葉ヲナス、中軸ニ散生毛アリ。全形概シテ橢圓形、長さ 20 cm 幅 6 cm。小葉片ハ 5~11 個、基部ニ毛叢ヲ具フ。各片ハ概形卵狀披針形又ハ卵狀橢圓形、粗齒縁一齒數ハ各側 4~5—基部ハ楔形狀デ延長シ小柄ニ移行スル。尖端部ハ漸尖性鋭頭、裏面脈上ニ粗毛アリ、長徑 1~5 cm 幅 0.8~3.5 cm。花ハ短梗ヲ具ヘ、總狀花序ニ着ク。萼ハ筒狀、綠色ナルモ後ニ花色ニ類スル色彩ヲ帶ブルニ至ル、其長徑約 2 cm 邊緣 5 裂ス、各片ハ廣披針狀、尖端尾狀ヲ呈シ、長さ約 0.5 cm。花ハヤ、單軸性、赤黃色、花冠ハ萼筒ヨリ離脱スル。花筒部ハ全長 6 cm 最大幅員 1.5 cm 其中部以下約 2 cm ハ狹窄スル。花冠裂片ハ 5、圓頭、長徑 0.5~1 cm 横徑 1~1.2 cm、邊緣ハ睫毛狀突起ニ依リ周匝サル、色ハ内側ニ於テ濃厚ナリ。下方ノ 2 片ハ他ノ 3 裂片ニ比シ幾分大ナリ。雄蕊ハ 4 本、花筒内壁中下部ヨリ合生スル、内 2 本ハ長さ 3 cm、2 本ハ 2.5 cm 即チ各對ヤ、異長。雌蕊ハ全長 5.5 cm 許。子房部ハ紡錘狀、長さ長徑 1.5 cm。花柱ハ長さ 4 cm、柱頭ハ 2 瓣ニ分岐シ、各片ノ邊緣ニハ鷄冠狀ノ缺刻アリ。花ハこのうぜんかづら同様多クハ花梗ノ關節ヨリ落花シ多クハ稔ラザルモノ、如ク、余ハ未ダ果實ヲ目睹セズ。渡來ノ年代ハ之ヲ知ルニ由ナキモ、現在存在スルモノハ樹齡ヨリ判斷スルニ、最近來レルモノトハ思ハレズ、或ハ多年のうぜんかづらト混同サレ居タルモノナラン歟。